

「水環境ニュース」

「水環境ニュース」では、県内の水環境に関する情報を発信していきます。

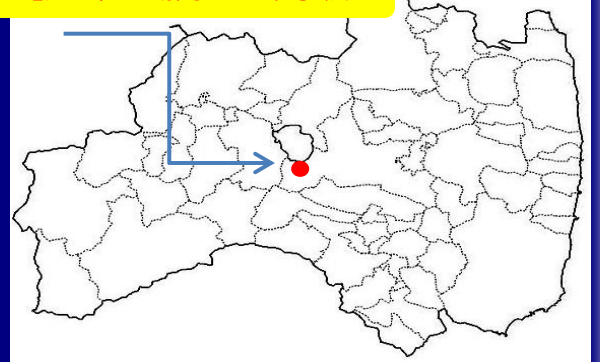
今号では、水資源功績者として表彰を受けた「阿武隈川サミット実行委員会」と「郡山市立湖南小・中学校」の活動内容、8月7日（木）に開催された福島県中学生水の作文コンクール表彰式及び水環境活動発表会、福島県で作成した「地下水利用ポテンシャル図」についてお知らせします。

水資源功績者とは、水資源行政の推進に関し、特に顕著な功績のあった個人及び団体を、国土交通大臣が表彰するものです。

本年度の福島県の受賞者(2団体)

- ・阿武隈川サミット実行委員会
- ・郡山市立湖南小・中学校

郡山市立湖南小・中学校



水資源功績者表彰



阿武隈川サミット
赤：メンバー
緑：オブザーバー

活動内容は次ページへ

平成26年度水資源功績者 活動内容

阿武隈川サミット実行委員会

地 域

阿武隈川は、福島県及び宮城県を流れる阿武隈川水系本流の一級河川です。水系としての流路延長239kmは、東北で北上川に次ぐ長さの大河となります。勾配が緩やかで穏やかな印象を受けますが、増水時には溢れ易く洪水被害の絶えない川でもあります。

昭和61年8月5日に発生した「8・5水害」や、平成10年8月に発生した「平成10年8月末豪雨・台風5号による災害」は、阿武隈川沿川に大きな被害をもたらしました。これをきっかけに総合的な河川改修と改良型災害復旧を短期間に集中的に実施する「阿武隈川平成の大改修」という大規模な事業が行われました。

現在に至るまで、沿川市町村は、社会、経済、文化の発展に川の極めて大きな恩恵を受けてきた反面、台風や長雨による洪水なども多く、阿武隈川と沿川住民の間には、多くの治水・利水の歴史が残されています。

経 緯

阿武隈川サミット実行委員会は、母なる川「阿武隈川」を知り、川との共生を目指しながら、流域それぞれの実態に即した治水・利水計画との調和を図り、河川環境保全を推進するため、平成6年10月に福島・宮城両県の阿武隈川沿川29自治体（合併で現在22自治体）により設立されました。

主な事業は、・阿武隈川サミットの開催（沿川自治体長の討議。14回開催）／河口クリーンアップ／リバーズクール／源流探検／カヌー駅伝／フォトコンテスト／講演会／交流会 など。製作物として、CD「あぶくま川の詩」などがあります。

功績内容

- ・サミット開催による流域の自治体の首長（22自治体）の施策共有や連携した活動により、治水、河川環境整備、水質改善、クリーンアップなど環境保全や啓発活動に大きな成果を上げています。
- ・地域の文化や教育について、交流を図るなど多様な取組を行い、水資源の保全に貢献しています。



※平成25年度開催
の最優秀賞作品→

平成26年度水資源功績者 活動内容

福島県郡山市立湖南小・中学校

地 域

郡山市立湖南小・中学校は、平成17年4月に5つの小学校を統合し、既存の中学校と一体的に整備するとともに、「小中一貫教育」を全国に先駆けて実施した学校です。

地域との連携を重視し、三世代交流、民話学習など地域の皆様と一緒に活動を多く取り入れ、児童生徒が地域への誇りを持つことができるように教育活動を実践しています。

校歌の「ふるさと湖南誇りを胸に」のフレーズは、学校、保護者、地域、みんなの願いとなっています。

学区に面している、郡山市の水源地である猪苗代湖や舟津川、鬼沼にはたくさんの水生生物などが生息しており、これらの自然環境を、将来にわたって守るためにはどうしたらよいかを考え、小学4年生を中心にエコクラブを結成し、総合的な学習の時間等で調査活動等を行っています。

経 緯

平成17年の開校と同時に湖南エコクラブを発足させ、地域の宝である猪苗代湖の水質調査や水生生物保護のための生態調査を実施すると同時に、学習発表会や環境フォーラム、郡山エコクラブ交流会などで積極的に発表し、環境保護の普及啓発活動に取り組んでいます。

また、中学生は小・中一貫校開校前より、猪苗代湖の湖岸清掃を行い、平成22年からは湖南高校と連携し、水生生物の保護のための環境整備を実施しています。

功績内容

下記の調査や清掃、活動発表など水環境整備の実施・普及啓発に貢献しています。

- ・猪苗代湖の水質調査（湖心、志田浜、浜路浜、青松浜、鬼沼）
- ・舟津川水質調査
- ・下水道や環境のフォーラム参加
- ・環境フェスティバル参加
- ・浄化センター見学
- ・子どもエコクラブ全国大会参加
- ・湖岸清掃（湖南高校との連携）
- ・学習発表会での報告



湖岸清掃



猪苗代湖の水質調査



鬼沼調査



市生活環境課の出前授業



猪苗代湖



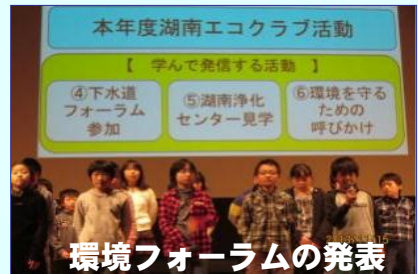
舟津川の生き物調査



エコクラブ壁新聞



全国子どもエコクラブの発表



環境フォーラムの発表

福島県中学生水の作文コンクール表彰式 及び 水環境活動発表会 が開催されました。

福島県では、水の日(8月1日)、及び水の週間(8月1日～7日)の行事の一環として、広く水に関する関心を高め、理解を深めることを目的として、本県の次代を担う中学生を対象に水の作文コンクールを実施しています。

第36回目となる今回は、平成26年5月15日まで作品を募集し、審査の結果、5作品が入賞作品として選ばれました。

8月7日には福島市にある杉妻会館で表彰式が開催され、入賞者へ表彰状が授与されました。

また、水資源功績者として表彰された「阿武隈川サミット実行委員会」と「郡山市立湖南小・中学校」により、水環境活動について発表していただきました。

当日出席いただいた入賞者全員に表彰状が授与されました。



入賞者ご本人に作品の発表をしていただきました。



参加者全員での集合写真



「阿武隈川サミット実行委員会」さまから活動の発表をしていただきました。



「郡山市立湖南小・中学校」さまから活動の発表をしていただきました。



地下水利用ポテンシャル図

福島県中通り・浜通り地域の市町村を対象として、地下水の利用しやすい箇所を視覚的にわかりやすく提供できるよう、「地下水利用ポテンシャル図」として作成しました。地下水利用ポテンシャル図は将来の地下水利用を見据え、地下水が比較的多く存在し、利用しやすい場所を示したものです。（図面は裏面に掲載しています。）

1 地下水利用ポテンシャル図の作成方法

調査対象地域全域を250mメッシュで区切り、5つの指標により5段階で評価した。

- ・表1に示したデータをすべて250mメッシュに変換し、それぞれの項目ごとに評価点を設定。
- ・各データを重ね合わせて、評価点の合計をポテンシャルとして整理。

【使用した指標】

(1) 地形・地盤分類による配点

24種類の微地形区分に分類し、将来の地下水開発のしやすさ、地下に帯水層がある可能性を考慮して、地形区分ごとに配点した（例）0点：山地、3点：ローム台地、5点：扇状地）

(2) 傾斜による配点

土地の傾斜が急な箇所では、地下水の開発は困難であるため、傾斜の小さな箇所を開発のしやすいポテンシャルの高い地域として配点した。

(3) 地質による配点

帯水層となりうる地層（堆積層）の厚い箇所をポテンシャルの高い地域として配点した。

(4) 降水量による配点

気象データの年間降水量から蒸発散量を引いた値を余剰水量とみなし、余剰水量が多いほうが地下に供給される水が多いという観点から配点した。

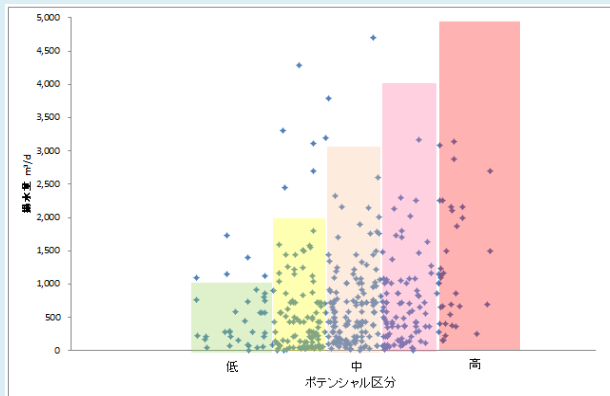
(5) 土地利用区分による配点

土地の利用状況から、開発のしやすい箇所をポテンシャルの高い地域として配点した。

2 既存井戸の位置における各項目の配点、揚水量、ポテンシャルの関係

集計した各項目のデータを見ると微地形区分、層厚・地質、傾斜にはある程度の相関がみられ、配点が高いほど、揚水量が多くなる傾向が見られる。

一方、余剰水量と土地利用区分とは明確な相関は見られない。これは土地利用区分においては今後の開発時の利用のしやすさを考慮して配点していることで、必ずしも地下水の量や現状の地下水利用とは傾向が一致しないことが要因と考えられる。



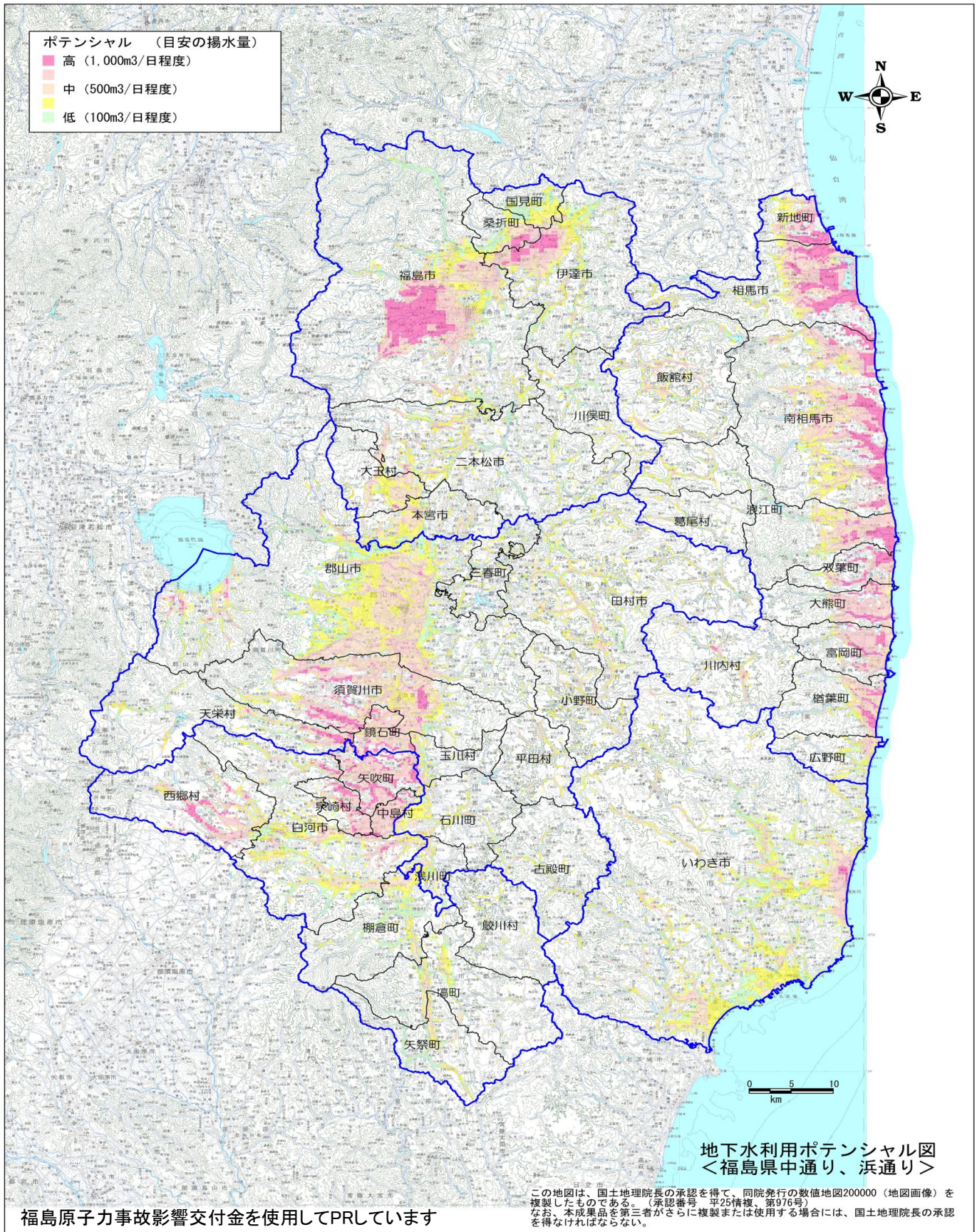
しかし、地下水利用ポテンシャル図においては、開発のしやすさも重要な要素であるため、現状の揚水量との相関が小さくても指標の一つとして使用することとした。概ねポテンシャルが高くなると揚水量が多くなる傾向はみられるが、一部ポテンシャルが低いとされた部分で多量の地下水を使用している箇所がある。これらの井戸を個別に見ると、深度100m以深でストレーナーを複数設け岩盤内の亀裂から採水している傾向が見られる。つまり、地下水利用ポテンシャル図でポテンシャルが低いと評価されていても、地下水の利用が可能な箇所はあるということである。

3 地下水利用ポテンシャルの傾向

ポテンシャルの高い箇所は、中通りの盆地部や阿武隈山地の谷底低地部、浜通りの平坦部で、地下水開発の可能性が較高い箇所となっている。

【実際の開発に際しては、事前に詳細な調査を実施することを推奨します。】

地下水利用ポテンシャル図



揚水量は目安であり、実際の開発等に際しては、詳細な調査をすることを推奨しております。

【問合せ先】
 福島県企画調整部 土地・水調整課
 〒960-8670 福島市杉妻町2-16
 電話:024-521-7123 FAX:024-521-7911
 メール: tochi_mizu@pref.fukushima.lg.jp
 HP [福島県 土地・水調整課](#) [検索](#)